

JIS L 4129 子ども用衣料の安全性 - 子ども用衣料に附属するひもの要求事項

規格の解釈や 実務に役立つ 3点セット 「JIS要約版」「Q&A 集」「チェックリスト」を公開します

子ども用衣料の“ひも”は、考えてもないような状況で他のものに引っかかってしまい、怪我などにつながるものとして、以前から安全性確保が求められていました。海外を見ると、欧米諸国を中心にすでに安全規格が整備され、ひもの長さや使用部位が規制されています。

そのような中、日本でも昨年「JIS L 4129 子ども用衣料の安全性 - 子ども用衣料に附属するひもの要求事項」(案)が公表され、2015年12月に制定されることが決まっています。ただし、JISの「L」番台としては、身体の安全性確保を目的にしているという点で、今までにない規格でもあり、解釈が難しい部分が多くあります。

そのため、当財団が参加した子ども服の安全性に関するJIS開発委員会ワーキンググループ(事務局：一般社団法人 繊維評価技術協議会)では、Q&A集やチェックリスト等の検討/原案作成を行いました。表題に下線をした下記リンクよりご覧いただけますので、ぜひご参考にしてください。

JIS 要約版	対象年齢、適用アイテム、ひもの種類・長さ、対象部位を一覧表でまとめました。
Q & A 集	規格の解釈が難しかったり不明である部分について、繊維業界内の様々な関係者から寄せられた疑問や質問に対し、回答をとりまとめました。
チェックリスト 年少用 年長用	年少用（出生から7歳未満）と年長用（7歳以上13歳未満）に分け、規格上の要求事項をチェックリストとしてまとめました。
経済産業省の発表資料 リリース 制定原案	経済産業省がJIS L 4129規格案を公開した際の発表資料です。

JIS L 4129 につきまして、ご不明な点がございましたら
お気軽にニッセンケンにご相談ください。よろしく申し上げます。

ニッセンケン業務本部 試験部

電話番号：03-3861-2341 FAX：03-3861-4280

E-mail：gyomu@nissenken.or.jp